

# 月刊島民

中之島

Vol.114 2018 1/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン



難しいことを、  
面白く。



ナカノシマ大学

「クイズとテレビ  
の大阪史」

西野ヒロシ 讃岐邦好

申し込み受付中!

**学者の話は難しい方が  
ありがたかった!?**

**高島** 私は歴史的にものを考える癖がありますが、大学の教員が学外の公開講座などと呼ばれるようになってきたのは1980年台後半あたりからですが、しかし、その頃はまだけつたいな先生が多かったですよね。

**仲野** 大学の教員が面白く話すなんて、ごく一部を除いてまったく意識していませんでした。

**高島** 私の恩師にめちゃくちゃ滑舌の悪い先生がいたんです。学生には何を話しているのか聴き取れない。その上に古文書が専門だから板書の文字がすごい崩し字で読めない。

**仲野** あかちゃん(笑)。

**高島** その先生が学外で講演をしたんです。カバン持ちをしていた私は客席で聴いていたんですが、終わった後のお客さんの反応に驚きました。「なあ、今日の話は難しかったな」「うん。何言ってるかわからへんかった」「でも大学の先生の話ってありがたいな」。これはすごいと思いませんか。

**仲野** そうかもしれませんね。その頃はなんせ大卒の人が少なかったから。

**高島** そうなんです。昭和30年代前半まで、大学進学率は男女合わせても1桁でしたから。平成元年(1989)でも25%以下です。

専門的なのに面白い著書が話題の2人!

対談

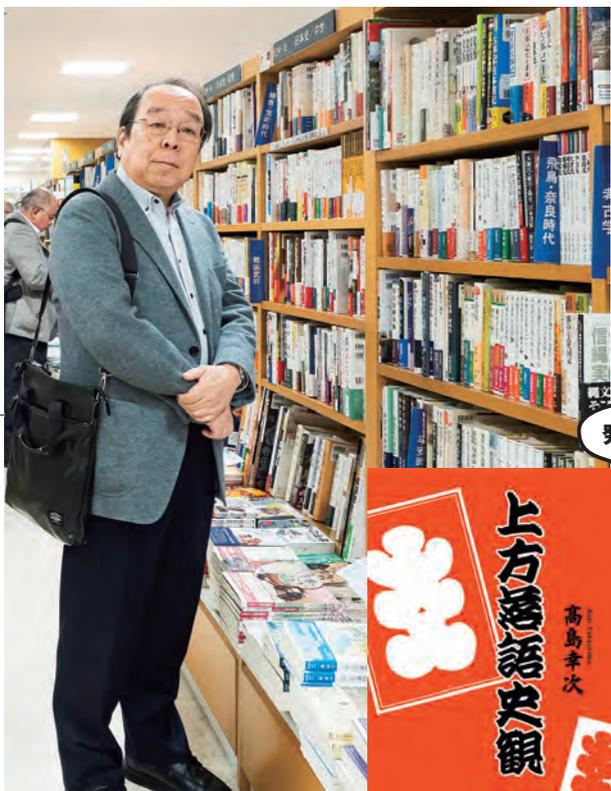
**高島幸次(日本史) × 仲野徹(医学)**

**「おもろい研究者」も  
ラクじゃない。**

専門的な学問の話を、わかりやすいだけでなく、時には笑いを交えて面白く語る研究者が大阪には多い。いわゆる大阪人気質もあるのだろうが、面白く語ろう、書こうとするモチベーションが、わかりやすさや伝わり方につながっているのだとすれば、素晴らしいことではないか。

講演も文章も面白いと評判の、文系理系を代表する大阪のおもしろい研究者2人が、学問と笑いの関係について漫才を繰り広げ、いや、語り合った。

取材文/大迫力(本誌) 写真/李宗和



笑ってるうちに学べる、  
高島先生の最新刊!  
『上方落語史観』  
(140B・1,500円+税)

大の上方落語ファンである高島幸次先生が、日本史研究者の視点から落語のネタを分析。一見、笑いのための虚構ばかりと思ってしまうがちな落語の世界は、意外や新しい発見に満ちた歴史の教科書のような存在だった。初心者には落語案内として、落語通にはもっと楽しむためのガイドとして読める。桂春之輔、精神科医の名越康文との鼎談も収録。

**仲野** 大学の先生の話聴く機会もめったになかったんでしょね。

**高島** だから大学の教員も「わかりやすく話さねば」という気はあまりなかった。宗教哲学の先生なんて、自分のノートをドイツ語で書いているのはい

大ヒット!

いんですが、講義の途中でいつの間にかドイツ語になっていく。学生全員誰もわからない。迷惑でしょう(笑)。

仲野 昔はわかりやすい講義がいいという風潮はなかつたですね。ちよつとわかりにくいぐらいの方がありがたいがあると思われてたりして。

高島 自分の論文は一生懸命書くけれど、教室では「わかるやつだけ聴け」。そんな時代だったから。



### 各方面から絶賛の声が。仲野先生の大ヒット作! 『こわいもの知らずの病理学講義』

(晶文社・1,850円+税)

阪大医学部の教授である仲野徹先生が、近所のおっちゃんやおばちゃんに聴かせるつもりで書いたという「おもしろ病理学講義」。誰も無縁ではられない病気について、その成り立ちを知り、どのように付き合っていくべきなのかを解説。こんなに面白く読める医学の本はないと、大ヒット中。



紀伊國屋書店 梅田本店にて 2人の選書フェアも開催します!

論に入ったら急に「面白くない」と言われる。当たり前やちゅうねん。我慢せよ。

高島 仲野先生の「こわいもの知らずの病理学講義」も雑談が面白いですからね。今で12刷5万0000部でしたっけ。まともな部分を削って脱線しましたら、もつと売れたんちゃいますか。

仲野 そんなことしたら何の本かわからんようになります(笑)。その点、日本史はエピソードの積み重ねみたいなどころがあるから、どの部分を抽出するかや話術によって面白さを強調できそうですね。

高島 そうですね。しかも、ありがたいことに興味を持って聴きにくる人がたくさんいる。

仲野 歴史はいろんなことを知っているほど面白くなるから、どんどん要求水準が上がっていきますよね。

高島 学生によく言うのですが、「面白い裏話をします」と。「ただし、表を知らない」と裏も面白くないよ」とも講演会にはその表もよく知っている歴史好きの人が聴きにきてくれるから、公開講座はやりやすい。でも医学の話となると、裏話や余談に入るのはなかなか難しそうですね。

仲野 まあ、雑談を面白くすることによって授業中に学生が寝なくなりますがね。アンケートで、「眠くなる」とかで余談が入るので助かります」とか、そういうのはよくあります。

高島 それって計算してます?

仲野 もちろん。だってこつちも眠たくなるから(笑)。

高島 なるほど。余談はすごく大切だと思ふんやけど、どんな余談を話すかは決めていくわけじゃないでしょう。

本論からどう膨らませるかというところに個性が滲む。そこでやっぱり大阪という風土が関係してくると思うんですね。つまり、子どもの時から話の膨らませ方を訓練されているわけ。

仲野 それ、高島先生だけちゃうんですか。まあ、「おもろいこと言わないと負け」みたいな感じはありますけど。

高島 大学で教えるようになって、「この日のために小学校の頃からクラスメイトは私を鍛えてくれたんだ!」と気が

です。ねえ。わかりやすい方がいいんですけど、今はちよつとサービスしすぎちゃうかという気もします。

高島 その割合が難しいですね。2000年頃から大学ではシラバスが厳格化されて、学生による授業評価が導入されたりして、学生へのサービスを無視した講義をする人は少なくなりましたね。シラバスには講義を固定化する弊害があるけれど、聴く人にとってわかりやすく面白く話すことが、大学の

教員にも求められるようになってきたのもその頃からでしょうか。

### 本論よりも、余談や雑談が大切。

仲野 わかりやすく話すという点では、やっぱり理系は難しい。教えることが決まっていますからね。「先生、本論も余談と同じぐらいのペースでやってください」と言われるけれど、そんな無理や(笑)。雑談は面白いけど本

論よりも、余談や雑談が大切。

論よりも、余談や雑談が大切。

論よりも、余談や雑談が大切。

論よりも、余談や雑談が大切。

論よりも、余談や雑談が大切。

論よりも、余談や雑談が大切。

論よりも、余談や雑談が大切。

論よりも、余談や雑談が大切。

論よりも、余談や雑談が大切。

づきました。

**仲野** 鷺田清一先生もよくおっしゃってますね。「やつぱりおもしろなかったらあかん」と。「おもしろい」は、大阪では一番の褒め言葉やから。

**高島** ただね、いいことばかりではないんですよ。昔、東京の某大学で研究発表をしたんですが、わりと自信のあるテーマだったから、終了後の懇親会も楽しんでた。すると恩師が近づいてきて、「高島くん、大先生に言われたよ。『発表はよかつたけど、ウケようとするのはやめさせなさい』って」。東京ではそうだったんですよ。だからあれ以降、箱根の関を越えて研究発表するのは怖い。

## 話すよりも書く方が技術を要する。

**高島** サービス精神の乏しい人は、難しい本論をわからせるための例え話が多くと難しいことがありますね。

**仲野** ああ、いえますね。例えれば例えるほどわかりにくくなる。

**高島** 一番上手な人は、本論があつてわかりやすい例え話を出して、いつの間にかちゃんと本論に戻っている。私はこの頃は注意力が散漫で、話が逸れたまま本論を忘れてしまうことが（笑）。

**仲野** それでもう一回同じ話を始めたら認知症ですよん。

**高島** ただ、講演など話し言葉の場合には少々逸れる時に失敗してもすぐに元に戻せますが、本を書く時にウケようと思つて書いたところが面白くなかつたら目につきますよね。本の方が遊ぶのが難しいと思いませんか。

**仲野** それはそうですね。高島先生はふだんのキャラに比べて、本は真面目過ぎる気がします。今回の『上方落語史観』はどうなんですか？ 落語の本が面白くなかつたりしたら最低ですよ。**高島** まさに先ほどの話ですね。本論の落語より面白くない解説本を出してどうすんねん、と。

例えばこの本の冒頭では「初天神」というネタを挙げました。長屋住まいの男がどこへ行くにも形見分けにもらつた羽織を着ていこうとする。そこで妻が「この前は便所にも着て行つたやないか」とイヤミを言う。ここで現代のお客さんは、「トイレに羽織なんて」と笑うけれど、昔の四軒長屋のトイレは屋外の共同便所を使います。そうなると、笑いのニュアンスが変わつてきますよね。そういうことを長屋の図面を入れて説明したりしています。

**仲野** なるほど。そういう知識があると、より落語を楽しめそうですね。今はもう長屋もなくなりましからね。

**高島** そうなんです。以前、「この前は便所にも…」の部分で「公衆トイレにも…」とアレンジしている落語家さ

んの口演を聴きました。しかしそれでは意味が変わつてしまう。落語家もそういう世代になつてきているんですよ。もっと酷いになると、「みなさん、長屋つて知つてますか？」と尋ねておいて、「高層ビルを横にしたようなもんです」。

**仲野** そんな無茶な（笑）。

**高島** 長屋の建築的な要件は、中の壁を抜いても構造体として自立できることです。だから一枚の壁の両側が別の家になる。それを知らないで、『宿替え』で長い釘を打つたら隣の家に出てしまつたというネタの面白さのニュアンスが伝わらない。ピンと来なくて、「えらい長い釘やな」と思つてしまふみたいですが、知っていると落語がもっと楽しめるというところをこの本では強調しています。

**仲野** 先日、笑福亭松喬しょうきやう師匠が、「そのうちに落語も文楽のように解説を読みながら聴かないとわからんようになる」とおっしゃっていました。でも、説明されながら聴いてたら笑えませんよね。

**高島** 落語家さんが私みたいに解説したら野暮ですよ。そこで『初天神』の長屋なら妻のセリフで「屋外の便所」だと匂わせて理解できるようにするか、そういう工夫をする方もおられます。まさに話芸ですよん。

## 落語も大学の講義も同じ「話芸」。

**仲野** 話を面白くするというか、わかりやすくしようとするために、話の順番や構成を工夫することはよくあります。これは論理的な説明をするにはとても大事です。講演というのはいわば新作落語みたいなものかもしれませんがウケたらそこを伸ばす、聞き手がきよんとしていたら説明を加えたり、順番を変えたりする。

**高島** そこが文楽との決定的な違いですね。文楽は面白くなくても、言葉の意味がわからなくても床本の通りに語られます。

**仲野** 変えたらあきませんからね。

**高島** 実は古典落語は一言一句そのままに受け継がれているわけではないんですよ。時代を経るうちに消えている部分も多い。だから、100年後には便所のくだりを省いてしまふ人もいるかもしれない。ただ、そこが時代に応じて変わっていく落語の強みとも言えます。毎年やってくる大学の講義だってそうじゃないですか。話芸ですから。**仲野** ほんまにそうですね。聴いている人たちの顔を見ればわかつているかどうか一目瞭然ですからね。レスポンスのいい学生がいたら講義もやりやすい。わかる時はわかつた顔して、わからん時は「ん？」みたいな顔をする。

講義よりも講演の方がより落語に似ているかもしれないね。同じような内容の講演を繰り返していったら、どんどん面白くなっていく気がするもん。前はここでウケたからもっと膨らませようとか、ウケないところは外していい(笑)。落語と一緒。

**高島** つまらない授業をする先生は、10年前の講義ノートを使っていることがある。まるで「床本」。あ、言葉が面白くないと言ってるんじゃないですよ。**仲野** 言葉は笑わせるものじゃないですよ。でも、基本的に講義や講演の聴衆は笑おうと思ってるじゃない。お客さんがお金を払って笑おうと思ってる。見に来る落語とは根本的に違いますけどね。

**高島** それはその通りですね。ある落語家さんが、「先生はよろしいね。お客さんが面白い話を期待してないから、ジョークを言えば笑いますよね」って。**仲野** え、それは真逆じゃないですか？ 落語会に行ったら、笑わないと損みたいな気がするから、少々面白くなくても笑う。反対に講演会だと、聴衆は「笑ったら失礼かも」とか思っているところもあるし。高島先生の講演は別かもしれないけど(笑)。**高島** うーん、私の場合、3分に1回笑いが起きないと落ち着かないから…。**仲野** それは病的です。でも、家に帰って「今日の講演はどうやった？」つ

### 聴く側も面白いがる精神で聴いてほしい。

**高島** 講義でも講演会でも、いつも「WAO」という話をしたかと思ってるんです。「W」わかりやすい/A「新しい知見がある/O」おもしろい」。わかりやすく面白くだけでなく、何か新しい知見を持って帰ってもらうことが大事じゃないかな。昔はこんなことを考える人はいませんでしたが、最近の関西の研究者は話術に長けた人が増えましたね。東京はどうかと言えば、徐々に増えている気がします。

**仲野** そのあたりは地域性が関わっていいそうですね。**高島** 2012年に仙台で講演をしたんですが、ぜんぜんウケないんですよ。講演後に主催者の方に「ごめんなさい。もっとウケるはずだったんですが…」と謝ると、「えっ？ 今日は何ものすごくウケてたじゃないですか」って。笑いの発し方や面白さへの反応にも地域性があるんですよ。ニコッと笑うだけでもウケているという地域もある。大阪の人間は手を叩いて反応するけれど、どこでもそういうのを期待してはいけません。**仲野** 僕たちはお客さんに鍛えられて

いるということやな。**高島** ともかく、その一言で気持ちよく帰れました。

**仲野** いろいろな大学で講義をしますが、聴く方も面白いがる精神で聴いてほしいですよ。ウケてくれたら、こっちも楽しくなる。面白いこと言うてるのに笑わなかったら、こっちもやりにくくて、「早く終わりたい」という邪な気持ちになるから(笑)。聴く方も語り手を育てる姿勢で聴いていただきたいですね。まるで芸人さんみたいですよ。

**高島** 確かに同じ話を聴くなら、お互いに楽しみたいですよ。**仲野** セミナーとか講演の質疑応答で、同じところばかり質問を受けることがあるんです。それはやっぱり自分の説明が悪い。そんなところはだんだん説明を丁寧にするとか、聴き手のリアクションによって、こちらもいろいろ工夫ができる。ほんまに落語みたいなどころはありませんわ。

**高島** 幕末くらいに生まれた古典落語には、面白くないところがだんだんと削られて、ウケるところが残って100年以上経過しているものもある。こちらは一代限りですからせいぜい十数年じゃないですか。それでも落語のようには笑いをとろうとしているという涙ぐましい努力…。

### 「面白くてためになる大阪の本」フェア開催!

2018年1月2日(火)～1月31日(水)  
@紀伊國屋書店梅田本店

高島幸次先生の最新刊「上方落語史観」の発売を記念して、紀伊國屋書店梅田本店にて「面白くてためになる大阪の本」フェアを開催。真面目だけど面白い大阪の研究者たちが書いた本を中心に、高島&仲野両先生が選書した本が並びます。お二人の紹介コメントも公開。ぜひ店頭へ足を運んでください!



高島&仲野先生が真面目に厳選

てるんですか(笑)。でも、「ここは面白いことを言うてるな」というところではお客さんも笑ってほしい。そのことによってさらに面白くなるから、ウィン・ウィンの関係を築いていただきたいと思えます。**高島** それに、話そうとしている内容を本当に理解してなければ、楽しい例え話も出せないですよ。**仲野** ものすごく自己肯定的ですね。**高島** あなたに言われたくない(笑)。

これぞ、「難しいことを、面白く」。

# Handai-Asahi 中之島塾へようこそ。

取材・文／江口由夏(本誌)



「講義前にメガネが壊れ、みなさんの表情がよく見えずとても焦ったことがあります」と七五三木先生。受講生のリアクションは大事なのだ。

コーディネーターの沢村さ  
心がけています」。

奇しくも今月号では大阪大学の研究者ばかりだが、「阪大にはこんな面白い先生がいる！」とせっせと世に送り出している機関がある。それが大阪大学21世紀懐徳堂。市民と大学をつなぐ「社会学連携」の場づくりをミッションに、Handai-Asahi中之島塾の企画も行っている。

そのコンセプトはまさに「難しいことを、面白く」。講師の依頼から当日の司会まで務める沢村有生さんは、新たな講師発掘に余念がない。例えば昨年12月と今年2月に連続講座を担当する七五三木聡先生。ダイエットなど身近な話題を取り入れたフレンドリーな語り口が好評だが、数年前に沢村さんからのメールで「シナパ」されるまで、公開講座とは無縁だった。

「本当に90分で研究内容を上手く話せるか？ 市民の方が聞いて、意味のある内容だろうか？ 不安が多かったです」と七五三木先生。ところが今では、終了後の質疑応答をはじめ、参加者とのやり取りが研究のモチベーションにつながっているそう。「結局、『役に立ちたい』という気持ちは研究でも講演でも同じ。研究者はみんなそうだと思いますよ」。

一方で、日本語学者の金水敏先生。「役割語」というユニークなテーマもさることながら、お茶の水博士のコスプレやイラスト入りパネルを使うなど、面白がらせる仕掛けを惜しまない。それは「面白くなり得ることは面白く伝えなければならぬ」という思いの表れ。「いちびりな性格もありますが、直感に訴えやすい工夫はしています。特に一般の方の目に触れるものは、文章のわかりやすさ、語彙の選択の的確さ、難しくなりすぎないように書くこと・話すことを常に心がけています」。



年齢や性別を示唆する特徴的な言葉遣いである役割語を研究する金水先生。イラストを効果的に使ったレジュメがすでに面白い。



んいわく、講師の研究テーマによって、受講生のアプローチも違うのだとか。得た知識を明日から生活に取り入れた人、自分の知識で挑みたい人、すっかり先生方の話術のファンになってしまった人…。双方に刺激を与える交流の場になっている。

**Handai-Asahi  
中之島塾**

大阪大学と朝日カルチャーセンターが主催する公開講座。大阪大学発祥の地である中之島キャンパス跡地に建てられた大阪大学中之島センターにて、1年間を通じて開講。お申し込みは朝日カルチャーセンター中之島教室にて随時受付中。定員／各講座50～100名（定員に達し次第締切）  
受講料／1,620円（朝日カルチャーセンターの入会金は不要）  
申し込み・問い合わせ／  
☎06-6222-5224（朝日カルチャーセンター中之島教室）  
<https://www.asahiculture.jp/nakanoshima>

阪大が誇る理論物理学者・  
橋本幸士が分析する



## 科学にとって「笑い」とは?

ナカノシマ大学寄席や  
天満天神繁昌亭に登場した  
際には、理論物理学によって  
落語「あたま山」の  
謎を解き明かして爆笑を誘い、  
最も縁遠いと思われた笑いと  
物理学をあっさり結びつけた。  
橋本先生にとって「笑うこと」とは  
何を意味するのか。

専門は素粒子物理学。反った牛で「反り牛=素粒子」のイラスト入りTシャツは、橋本先生の鉄板ネタ。

「面白い」にも二つあり、①笑いを誘うものと②興味をそそるものがあります。②の方は、別に笑い出したりしません。ですので、表面的にはこの二つは違うものですが、本質的には非常に近いと考えています。

科学の成果は新しい視点に基づいて幅広く現象を記述する、もしくは新しい機能を実験や計算で示すといった新奇性に重点が置かれます。新しい視点を提示できなければ、その発表の学問的価値はゼロだと私は考えます。「あ、面白い!」と感じさせる発表は、科学の新しい種を生む重要な要素なのです。「嘘やろ」と聴衆が笑う時が、最もスリリングな瞬間です。

この時、「嘘ではありません。なぜなら…」と新しい視点の正当性を説き伏せ、一気に聴衆を自分の方へ引き込む。これは研究成果の発表のみならず、一般のプレゼンでもとても大事なポイントです。聴衆に「yes/no」の立場を決めてもらい、そして対決もしくは協調という形で聞いてもらうことで、主体性を持った聴衆の参加が叶うのです。

そんな風に考えているので、笑うかどうかは、極めて真摯な聴衆による批判だと受け取っています。批判を受けることは学問の第一義で、批判のない学問は世の中に必要のない学問です。批判を受けて議論をすることは、学問をさらに発展させる上で最も大切です。講演でそのレベルに持っていくためには、まず聴衆に興味を持ってもらい、面白いと思ってもらわねば、スタート地点に立てないのです。

笑うというのは、新しい視点を提示されて裏をかかれた時に、恥ずかしさを隠したり、周囲と同じなんだよという意思表示ではないでしょうか。なので、笑うことは主体性の最もよくわかる表現で、それができない講演は、講演者の死(=意味のない学問)を意味しているのです。

## ● 沢村さんオススメ! 1~3月のラインアップ

### 1 「水の都・大阪の川と海は、きれい?汚い?」 入江 政安(大阪大学大学院工学研究科准教授)

1月27日(土)10:30AM~12:00PM

質問です。堂島川と道頓堀川、飛び込むならどっち? うーん、できれば両方避けたいけど、月刊島民ファンなら堂島川? どちらの川もゴミが浮いているのはみかけなくなりました。戦後の都市は汚い川に背を向けて発展しましたが、例えば2014年に「平成の太閤下水」と呼ばれる大工事が行われるなど、近年は汚水や雨水の処理は都市の環境整備の重要課題となっているのです。水の都と呼ばれる大阪の、複数の川からの入り組んだ「流れ」と「水質」について、水環境が専門の入江先生がお話しします。

### 2 「あたま、とからだ、の鍛え方・整え方 ~part2あたまを変える」

七五三木 聡(大阪大学大学院医学系研究科准教授)  
2月10日(土)10:30AM~12:00PM

七五三木と書いて「しめぎ」と読む。ふりがなの方が字数が少ないってどういうこと? と、それはさておき、七五三木先生が伝えたいのは、質の高い生き方について。自分の脳やからだやこころの本質を知れば、他者について、ひいては社会全体についての新しいモノの見方・考え方が見えてくるそうです。他者から求められ、応えられる自分となることに、人は大きな幸せを感じるのだそう。言われてみれば確かに幸せってそういうことかも。講義のはじめに前回のおさらいがあるので初めての方もご安心を。

### 3 「遊牧民だった大学教員

—地域研究者から環境保護活動家になる—

スチンプ 思 沁夫(大阪大学グローバルイニシアティブ・センター准教授)  
2月17日(土)3:00PM~4:30PM

内モンゴル自治区シリンゴル高原生まれ、子供の頃はおじいさんおばあさんと遊牧生活を送っていた…。もうこれだけでスチンプ先生に興味が出てきませんか? 内モンゴル芸術大学ではクラシックバレエと民族舞踊を学び、北京大学法学部に進んで弁護士となり、30歳で来日。金沢大学大学院で生態人類学の博士号を取得し、現在は大阪大学の准教授として環境保護活動に取り組む…。ね? スチンプ先生とは一体どんな人なのか、どんなことを日々考えているのか、お話を聞いてみたくまりましたよね!

### 4 「髪は蘇るのか? ~毛の健康と病気」

板見 智(大阪大学大学院医学系研究科教授)  
2月24日(土)10:30AM~12:00PM

「お医者さんに相談だ!」のフレーズとともに認知度が高まったAGA(男性型脱毛症)。とはいえ、どこのお医者さんに行けばいいの? と思った方にはこの講座がガイドダンスとなりそう。アデランスと共同研究を行っている板見先生は、髪が薄くなったからといって人格や能力が変わるわけではないのに、自信を喪失してしまう人が多いことから、髪が人に与える心理面の調査も行っています。健康な髪髪の成長とそれを妨げる要因と治療について、日本皮膚科学会のガイドラインに沿ってのレクチャーとなります。

### 5 「話し声からわかること ~声とイメージの関係を知り コミュニケーション力をUPするために」

郡 史郎(大阪大学大学院言語文化研究科教授)  
3月3日(土)10:30AM~12:00PM

自分の声や話し方が他人にはどう受け取られているのか、あなたは意識したことがありますか? 郡研究室の研究生でもあるフリーアナウンサーの方から「テーマも人柄もとってもユニークな郡先生の研究を、一般の方も学べる機会があればいいのに」と、推薦をもらったのが開講のきっかけ。アナウンサーも師事する郡先生の「声の使い方」を体得すれば、相手に与える自分の印象をコントロールしたり、言いたいことをよりうまく伝えたりと、コミュニケーション力のUPにつながることも間違いナシです。

# 決めゼリフ。

取材・文／江口由夏(本誌)

## 作品解説編



白髪一雄《ミスター ステラ》1958年、油彩、和紙・カンヴァス、大阪新美術館建設準備室蔵

## 足の指の跡が見えますか？

もっと作品に近づいて観察してみてください。重なり合った絵の具の中に、足の指の跡が見えるでしょうか。なぜなら、作者の白髪さんは「フットペインティング」、つまり足で描くという珍しい手法を使っていたんです。天井から吊るしたロープにつかまりながら、キャンバスに置いた絵の具を伸ばして描いていました。写真で見ただけでは見つけにくいですが、「本物」を見ると制作の背景がわかりますね。



大阪新美術館建設準備室 学芸員  
國井綾さん

専門 ● 中之島に活動拠点があつた「具体美術協会」

例えば絵画の解説などでは、「あなたが飾ってみたい絵は？」と聞いてみると、親しみを感じてもらえるようです。私は作品の素材や展示方法などもトークに盛り込むようにしています。作家が健在の場合は本人の声を取材し、新美術館建設準備室のホームページで公開する「オーラルヒストリー」の活動も始めました。

## この作品は「ダンゴ」と呼ばれています

日本出身でアメリカ在住であるアーティスト・金子潤の代表的な陶芸作品のシリーズです。小さなものから人の背丈を超えるものまで、サイズも色合いもたくさん。展示作業中、空調などを調整してくださる設備担当の方に「ダンゴが入ります」と言ったら変な顔をされてしまいました(笑)。よく見ると、表面の釉薬のムラがわかります。ザラザラ、つるつる…部分ごとに表情が分かれているのがわかりますか？

金子 潤 《無題》2014年・東洋陶磁美術館蔵 写真・富山崇



大阪市立  
東洋陶磁美術館  
学芸課  
宮川智美さん

専門 ● 河井寛次郎  
などを対象とした近  
現代の陶芸

「鑑賞陶器」という考え方にに基づき、まずは色や形に注目していただき、そこから「なぜこの表現が生まれるんだろう？」という疑問につなげていくような展示や解説を心がけています。私たちのレクチャーも正解を提示しているのではなく、みなさんの鑑賞方法のお手伝いをしているのだと思っています。



クロード・モネ《草上の昼食》1866年・プーシキン美術館蔵  
© The Pushkin State Museum of Fine Arts, Moscow.

## 絵を見ながら旅しましょう

「風景」って何ですか？なんて問われると、つい、人里離れた大自然を思い浮かべてしまうかもしれません。でも、都市や異国の風景だってあるし、気安い日常の一コマもまた、風景と呼ぶことができます。この夏から始まる展覧会の出品作、若き日のクロード・モネが描いたピクニックの様子もしかりです。何となく知った気になっている「風景」、その意味を改めて考えるきっかけを、この作品は与えてくれます。



国立国際美術館 研究員  
福元崇志さん

専門 ● 第2次世界大戦後のドイツの彫刻

ギャラリートークを行う時も、図録に載せるテキストを書く時も、できるだけ身近な問いに引きつけて、みなさんの積極的な解釈を促すよう努めています。「いや、自分だったらこう考える」と様々な異論反論が生まれてきたら、嬉しいところです。美術作品に、唯一絶対の正解なんてありません。

## ショー&ツアー編



サイエンスショー  
「虹でじっけん、光のせかい」

## 虹はほんとに 7色ですか？

今日は虹と光の関係について実験してみましょう。虹ってどんな時に見られると思いますか？ そうです。雨上がりですね。きれいに見えますけど、いくつ色が見えますか？ はい、「7色」という声が多く聞こえましたね。でも、本当にそうでしょうか？ 一緒に数えてみましょう。では「回折格子」という光を虹色に分ける秘密の道具をみなさんにお配りします。これでLEDや電球など、いろいろな光を覗いて虹色を観察してみましょう。



大阪市立科学館 主任学芸員  
長谷川能三さん  
専門●光学現象（屈折や虹など）

サイエンスショーはお客様の参加や反応があってこそですから、共感が会場を満たすと私も楽しくなります。見せ方の工夫にも力が入ります。また、専門用語や同音異義語のある言葉は避けるようにしています。サイエンスショーの基本的なシナリオはあらかじめ決めています。お客様の表情や反応を見ながら流れを変えていきます。専門家や時代の流れによって、話し方や時にはオチまで変わることもある落語に似ているかもしれませんね。

## ミュージアムを 盛り上げる

## 学芸員の

## ここには昔、 都があったのです

みなさんが今立っている場所には、およそ1350年前の飛鳥時代に「難波宮」という宮殿がありました。博物館の隣にあるNHK大阪放送局の床には赤い丸があって、そこには昔、柱があったことを示しています。実は、床下には今も遺構が埋まったままなんです。壊してしまうと、将来の子どもたちに実物の遺跡を見てもらうことができませんからね。この建物も遺構を傷つけないように、工法やデザインを工夫して建設されました。だからこんなに変わった形の建物になったのかもしれない。



大阪歴史博物館 研究主幹  
松尾信裕さん  
専門●大阪城下町の役割やその影響

実際に放送局の地下や館外を歩きながら謎解きのように解説し、「今、遺跡にいるんだ」という実感が持てるようなツアーを目指しています。自分では面白い解説なのかはわかりませんが、どの場所で話しても関西弁で通していますね。あとはみなさん自身が大阪の歴史を体感できるように、大阪の街のあちこちに隠れた歴史的なヒントを紹介したりもしています。私もいろいろな街を訪れ、大阪と比較しています。



「難波宮遺跡探訪」  
ツアー





◎今月の授業

クイズ番組は  
時代を語る

# 【クイズ】

2018年2月講座

## 「クイズとテレビの大阪史」

講師 / 西野ヒロシ(味園クイズ研究会)  
讃岐邦好(関西演芸作家協会)



### 全員参加のクイズ大会& みんな知っている「あれ」の展示も!

誰でも楽しめるのがクイズのいいところ。講座の後半では全員で参加できるクイズ大会を開催。優勝者にはプレゼントも。また、今回の講師の西野ヒロシさんが自作した、テレビでおなじみの早押しボタンなど、クイズ番組にまつわるさまざまなグッズを展示します。



#### 西野ヒロシ

味園クイズ研究会会長として、千日前・味園ビルのイベントスペース「紅鷄」を拠点にクイズ大会を主宰。長年のクイズファンで、答えるだけでなくクイズ問題の作成や早押し機を自作するなどの癡りよう。昨年度の「船場をあそぼう」クイズラリーの監修も務めた。本業はグラフィックデザイナーだがパーテナーの顔も持つ。

### 「国盗りゲーム」から「アタック25」まで、 クイズ番組や司会者から、大阪の演芸史をふり返る。

谷原章介も好きだけれど、児玉清の「その通りっ!」の声がまだ記憶に新しい「アタック25」をはじめとして、実は大阪のテレビ局が生んだ名クイズ番組は数多い。過去をさかのぼれば「ダイビングクイズ」や「国盗りゲーム」に「アップダウンクイズ」「世界まるごとHOWマッチ」「ナイトQ」など…こうした番組が数多く生まれた背景には、果敢なチャレンジ精神と健全なイチビリのあ

るテレビマンたちが活躍する時代があった。最近また脚光を浴びつつあるクイズ番組だが、その歴史をふり返れば、在阪テレビ局がクイズの手法や演出を競い合い、芸能人司会者を起用して人気を博すなど、演芸史の文脈の中でクイズ番組史を語る事ができる。往年の名番組から最近の流行まで、クイズ番組の変遷から大阪という街の横顔を眺めてみよう。

募集要項	<b>「クイズとテレビの大阪史」</b> 日時 / 2018年2月14日(水) 7:00PM~8:30PM頃(開場6:30PM~) 会場 / 大阪府立中之島図書館 受講料 / 2,000円 定員 / 80名 主催 / ナカノシマ大学事務局	お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。 〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号 「ナカノシマ大学2月講座」受付係 FAX.06-6484-9678 ※先着順で受付後、 <b>1月20日午後より</b> 受講票をお送りします。 ※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。 ※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。 ※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。

ナカノシマ大学の最新情報は

<https://nakanoshima-daigaku.net/>

ケータイや  
スマホからは  
こちら!→



お問い合わせ  
☎06-6484-9677  
(ナカノシマ大学事務局)

## 記録する建築 (仮称)大阪新美術館について

取材文/大迫力未誌

中之島にできる新美術館コンペの公開プレゼンテーションは、大阪市中央公会堂において行われた。この公会堂もまた、およそ100年前にコンペを経て生まれたことを思うと、

### 第4回 ミニスタ

つい因縁めいたものを感じてしまう。これらを意識することによって見えるものは何か、建築史家の倉方俊輔さんと共に考えてみたい。

大正元年(1912)に行われた公会堂のコンペは、世にも珍しい互選による投票が行われた。顧問を務めた重鎮・辰野金吾によって指名された13人の参加者自らが1等から3等までを選ぶというもので、その結果、名だたるエリート建築家たちを差し置き、最年少の岡田信一郎の案が採用された。結果について辰野は、「1等から3等まですべて私の予想と同じ」とコメントしたそうだが、とてもユニークな選出方法だ。

「コンペはいつの時代も模索なんです。まず案を選んだ方がいいのか、人を選んだ方がいいのか。諸条件はどれくらい決めておくのか。きちんと考えた結果、いい建築が建つ。だから互選式が正しいかどうかではなく、西洋の

真似をせず新しいやり方をしよう」と辰野が考え、大阪市の人が受け入れ、建築家が頑張り、岡田信一郎が選ばれた。そのプロセス全体が素晴らしい。新美術館もプレゼンを公開にしたり、応募要件を下げているように、新しいことに挑戦している点では似ているのではないだろうか」

実は岡田はコンペの実行委員長であった

辰野金吾の弟子。実際の設計においては、辰野や大阪における片腕であった片岡安の手が加えられたという人間味溢れる逸話も残されている。今ではあり得ない話かもしれないが、倉方さんはこうした関与こそがコンペの最大の効果なのだと話す。

「コンペをすればいい案がでるという保証はありません。ただ、完成する前に多くの人を巻き込んでいく点は、間違いないくコンペの優れている部分。建築や審査員にとどまらず、市民やメディアに対して開かれ、建つ前から多くの人が関わっていく。それがコンペの神髄であって、100年前の辰野もそんな関与者です」

ところで、公会堂のコンペと同じ年、先代の大阪市庁舎もまた設計コンペが行われて

いた。この時はコンペ終了後に図面が展示公開され、多数の市民が訪れた。このようにコンペの最中だけでなく、終わった後も継続的に知る機会があることも大切だと倉方さんは話す。

「設計案には必ずしも『絶対』があるわけではない。確かに一等、二等は決まるんだけど、建築に絶対的な順位はない。かといって好き嫌いだけで勝手に言い合えばいい話でもない。どかが優れているのか、コンペは建築を見る目を養うためのものでもあって、その中で、どう使えばいいか他の案も出てくればいい。新美術館のコン



中央公会堂のコンペで第1席を獲得した岡田信一郎の案。実際のものより華やかさがあるとの声もあるが、そうした声がかがやすいというのが大阪らしさだろうか。

ペについては、二次審査に進んだ5案がホームページで公開されています。最優秀案に選ばれた遠藤克彦さんの案は、周囲とのつながりや開放性があり、さまざまなものを受け入れる可能性や余地がある点で一番いいとわかる。それに気づくと、今度は他の案のいいところも見えてきて、どれが一番なのかではなく、遠藤案のいいところをもっと活かすための議論につながっていくはず」

そして、大阪にはこうした議論が成り立つ土壌があるという。

「人間性もあるでしょうけれど、あれこれと意見を言い合う活発さは日本の中では大阪が一番じゃないかと思えます。それは首都ではないことも関係していて、国家という絶対的な基準がなく、市民が口を挟む余地が残されているということでもあります。新美術館のコンペをきっかけに、100年前にできた中央公会堂の価値や現代性もまた見えてくる。『辰野金吾ってすごいじゃないか』とわかってくる。重要文化財で、大御所が監督して…という知識としての理解ではなく、リアリティを持って都市の中で生きた建築として感じられるのは、大阪がしっかりとコンペをやってきたことの成果でしょう」

中之島で行われた三つのコンペの歴史から浮かび上がってきたのは、意外にも建築と市民との結び付きだった。

## 一月席のご案内

申込み受付中

◎お題(ご寮人さん)

# 「かかあ天下・亭主関白」

男と女にまつわる嘸をギュギュッと詰め込んだ初天神の日の天神寄席。船場の言葉で、商家の若い女性や若奥さんを表す「ご寮人さん」が一月席のテーマ。江戸時代も今も、男と女の愛憎劇は本質的には変わらないのか!? たくましい女性陣の活躍に乞うご期待。

鼎談のゲストは、作家の玉岡かおるさん。昨年9月に上梓された「花になるらん」明治おんな繁盛記」にも登場する時代を先駆した女性像を存分に語ってもらおう。

落語／笑福亭恭瓶「町内の若い衆」

笑福亭仁嬌「替わり目」

笑福亭岐代松「紙入れ」

桂坊枝「火焰太鼓」

桂雀三郎「夢の華財布」

鼎談／「花になるらん」を語る

玉岡かおる(作家)

高島幸次(大阪大学招聘教授)

桂春之輔

先活躍した女は、おんなを語る。玉岡かおるは明治時代の作家で、女は強い。

### ナカノシマ大学でお得な前売り券を発売中!

開催日／1月25日(木)

開演時間／6:30PM(開場6:00PM)／受付開始5:45PM)

受講料／2,300円(通常…前売2,500円／当日3,000円)

お支払い方法／当日(5:45PM)、繁昌亭入口付近の「ナカノシマ大学受付」にてお支払いください。

※予定枚数に達し次第、予約受付を終了します。※ナカノシマ大学では当日券の販売は致しません。

●お申し込み方法、お問い合わせ先はP10を参照してください。



夢で大金が入った財布を拾ったようだが、実は…。桂雀三郎さんによる人情嘸。

女房の尻に敷かれっぱなしの男に大もうけのチャンス到来!「火焰太鼓」を桂坊枝さんが演じる。

イラスト／フジワラトモコ

## 十二月席のニコマ

御茶場御礼

座談／しくじるは稽古のため

高座百遍・舞踊百遍

西川梅十三 山村若静紀 桂春之輔 高島幸次

高 今回は天神寄席初めのダブルゲストです。お二人が舞踊の師範というところで、「稽古」にまつわる落語を集めました。稽古の世界は今と昔で違いはありますか?

梅 昔はね、稽古は三回きりと決まっていた。初めはきっちり教えてもらいますが、そこでわからなかったらそれっきり稽古はなし。「人の稽古を見てなさい」と言われました。ズーッと見ていたら、覚えますからね。

若 今やったら、スマホで稽古を録画して、それを家に持ち帰って練習…という感じですか。私たちがなときはスマホとかは何もなかったもので、稽古の時間に集中して、一生懸命覚える。帰り道で、その日に教えてもらったことをメモに書き出していました。

高 稽古中はメモ取ったらかんのですか?

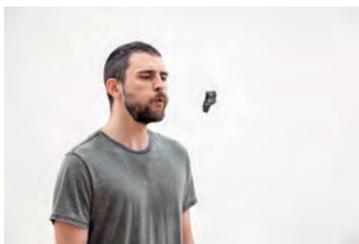
若 稽古中は書くような雰囲気ではないです。はよメモしたいんですけどね。

春 稽古中にメモなんか許しまつくないな!我々の場合、稽古は大きく分けて二通りあってね、米朝師匠は学校みたいに手取り足取り、一から教えてくださる。松鶴師匠は質問すると、「嘸家はな、理屈言うたらあかんねん。芸つちゅうのは自分で覚えて、自分で作っていくもんや」と。

梅 稽古は自分で工夫せないかんことですね。

春 うちの師匠(三代目桂春團治)も「最初は俺の言う通りやってくれ。とにかく言う通りやってくれ。そのあとは自分で工夫しろ」と言うっていましたな。

開館40周年記念展の  
国立国際美術館の



右/ロバートラウシェンバーグ(至点)1968年 国立国際美術館蔵  
© Robert Rauschenberg Foundation  
提供:NTT InterCommunication Center (ICC)  
左/アローラ&カルサディーラ(Lifespan)2014年 国立国際美術館蔵  
© Allora & Calzadilla; Courtesy Lisson Gallery

国立国際美術館 開館40周年記念展  
「トラベラー:まだ見ぬ地を踏むために」  
期間/1月21日(日)~5月6日(日)  
会場/国立国際美術館  
開館時間/10:00AM~5:00PM(金曜と土曜は8:00PMまで)  
※入場は閉館の30分前まで 休館日/月曜  
問い合わせ ☎06-6447-4680 (国立国際美術館)

大阪万博の跡地を利用して開館した国立国際美術館。オープンした昭和52年(1977)から数えると、40年の節目を迎えたことになる。2004年に移転した先は言わずと知れた中之島。この1月より40周年記念の大規模な展覧会が開かれる。

国立国際美術館といえば戦後の作品を中心に収集しており、国内外の現代美術を主役

量り売りがおすす  
め

ニッカウイスキーとゆかりの深い芝川ビルに入る「The Court」。雰囲気のある店内で珍しいウイスキーをあれこれといただける。「ウイスキーは男性の飲み物というイメージが強いようですが、男女関係なく皆様に楽しんでほしい」と店長の田原由紀さん。これまで店内でのみの提供だったが、去年より100mlからの量り売りも始めたのだとか。



最近ではウイスキーの希少性から、量り売りで販売する店も多いそう。100mlでも3ショット分が充分に楽しめる。「いきなりフルボトルに挑戦するのはハードルが高い」という入にも嬉しい。

シングルモルトのスコッチウイスキーは、チョコレートやドライフルーツと相性抜群。中でも、マーガレット・サッチャーも愛飲した「グレンファークラス105」は、干しイチジクを彷彿とさせる深みのあるフルーティーな香りが

◎「月刊島民1月号を見た」でプレゼント!  
「グレンファークラス105」、もしくは熟成年数が15年以上の「グレンファークラス」を100ml以上(1350円~)ご購入いただいた方に、「グレンファークラス10年」のミニボトル(約50ml)をプレゼント!(なくなり次第終了)

【The Court】 ☎06-6231-3200  
火曜~土曜12:00PM~2:00AM  
日曜12:00PM~6:00PM  
月曜6:00PM~2:00AM

印象的だ。ストリートで飲むのが特に美味しい。女性にもオススメです! (田原さん)。(山國恭子・本誌)

古地図の読み解き方や遊び方を発信し続けている、本誌やナカノシマ大学でも人気の本渡章さん。なんと、大阪ガスビル1階のカフェ「feufeu」の一角が、この1月から12月まで、毎月第4金曜の午後15時以降に古地図サロンに早変わりし、マスターを務める本渡さんが出迎えてくれるのだという。

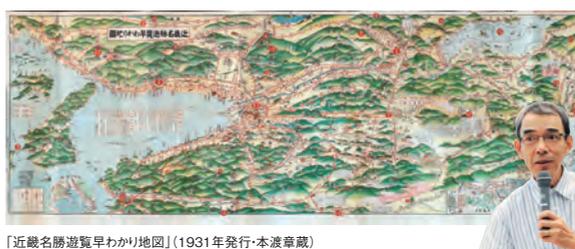
「見るだけOK、話しかけOK。カフェの中のカフェですので、他の席との境界はなく、ドリンクを持って出入り自由です。どなたさまもお気軽に。」

(江口由夏・本誌)

古地図の読み解き方や遊び方を発信し続けている、本誌やナカノシマ大学でも人気の本渡章さん。なんと、大阪ガスビル1階のカフェ「feufeu」の一角が、この1月から12月まで、毎月第4金曜の午後15時以降に古地図サロンに早変わりし、マスターを務める本渡さんが出迎えてくれるのだという。

「見るだけOK、話しかけOK。カフェの中のカフェですので、他の席との境界はなく、ドリンクを持って出入り自由です。どなたさまもお気軽に。」

(江口由夏・本誌)



【近畿名勝遊覧早わかり地図】(1931年発行・本渡章蔵)

「カフェ・イン・カフェ 古地図ものがたり」  
場所/大阪ガスビル1階  
カフェ[feufeu]内  
日時/毎月第4金曜  
3:00PM~6:00PM  
◎店内はセルフサービスのため、カウンターで注文後、メニューを受けてからサロンスペース(テーブル席一番奥の貸切コーナー)まで。

「私にジャンケンで勝った人だけに見せます」という図があるのも、サロンの距離感ならではの。(江口由夏・本誌)



本渡章さんがお出迎え!  
誰でも歓迎の古地図サロン

が月替りで5点を持参。1月26日(金)の第1回は、珍しい「名所細密挿画付・大阪市明細全図(1893年)」や、今月のナカノシマ大学でも取り上げる「近畿名勝遊覧早わかり地図(1931年)」の原図など、体裁も時代も多彩な5冊。「私にジャンケンで勝った人だけに見せます」という図があるのも、サロンの距離感ならではの。(江口由夏・本誌)



## 「ウイスキーやワインも調味料と同じ、素材を引き立てる名脇役です」

この4月に中之島でオープンする前は、神戸と新宿の店舗にいました。サントリ

のグループなので、本社がある堂島には度々来る機会があったのですが、「そもそも中之島ってどのエリアを指すんだらう？」とピンと来ない部分もありました。でも、友人や同僚に「中之島に行くことになったよ」と報告すると、「おしゃれな場所らしいね」という反応をもらったんです。確かに半年以上過ごしてみると、神戸や新宿はもちろん、梅田や難波とも違う雰囲気だとかよくわかりました。お客様もおしゃれな装いの方が

多いような気がしますね。

大変わかりやすい店名ながら、ウイスキーをというより、お食事を主役に据えてらっしゃるお客様が大半なんです。中之島の夜景が見えるロケーションが自慢の個室は、よくご接待にも利用していただいています。ビジネスで利用された後、気に入ってくださいお客様が常連としてポトルキープしてくださいことも増えてきました。お客様の期待に答えるべく、自然と



お料理も工夫をこらさなければと料理長と一緒に張り

切っていました。

私たちのこだわりを表した言葉には「白



素材の味を引き立てる、食中酒選びはお任せください

[Dynamic Kitchen&Bar 響] 店長

増田知之さん

「終わりの白」は、お食事の締めであるごはんのこと。島根県の棚田で育てられたコシヒカリをどうすれば美味しく食べてもらえるかと考えたとき、石釜にたどり着きました。炊き上がりには40分と長くかかりますが、米が持つ本来の甘みと旨みをしつくり引き出せます。人の手を入れ過ぎない料理を、白という色で表現しました。

良い素材はできるだけ包丁を入れる回数を減らし、いじりすぎないように。そして、美味しい料理は、良い素材と良い調味料が出合うことで生まれます。腕の見せどころは、出汁や醤油といった和の調味料たちをどう合わせるかなだと思えます。豆腐なら塩釜焚きのお米なら明太子や川海苔を添えて。素材の味が最大限に生きる名脇役を提案していきます。

に始まり、白で終わる」というものがあります。「始まりの白」は前菜のような感覚でおすすしたい、佐賀県唐津市の老舗豆腐店が昔ながらの方法で手づくりした豆腐のこと。何も付けなくて食べると、大豆の風味がダイレクトに伝わります。

ウイスキーやワインも、素材を引き立てる名脇役といえるかもしれません。お料理に合うものを、心をこめて選ばせていただきます。

祝祭へようこそ。



<http://festivalplaza.jp/>

提供/株式会社 朝日ビルディング

Information from Dynamic Kitchen&Bar 響 ●中之島フェスティバルタワー・ウエスト2階

佐賀県から毎日空輸する「川島豆腐店」のざる豆腐(1,620円)や、「島根県奥出雲仁多米コシヒカリ石釜炊き」(1,080円)などの逸品は、夜ならアラカルトで注文OK。実は店舗ごとに隠れテーマがあり、中之島店は「黒毛和牛と厳選ワインの饗宴」にも力を入れている。肉汁を巧みに閉じ込めた塊肉(フィレ350g 9,800円)は、増田店長オススメの重めの淡い赤が合う。☎06-6210-1750 11:00AM~3:00PM(L.O.2:00PM) 5:00PM~11:00PM(L.O.10:00PM,ドリンクL.O.10:30PM)



# 大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、  
みんな「島民」です!



## 『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪特急プレミアムカー/京阪シティモール/京阪モール/パナソニック天満橋店/ホテル京阪 天満橋/ホテル京阪 京橋 グランデ
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店]旭屋書店 梅田地下街店/紀伊國屋書店 梅田本店・グランフロント大阪店・本町店/ジュンク堂書店 大阪本店・梅田ヒルトンプラザ店・天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 [公共施設・大学関連施設など]アイスポット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立科学館/大阪市立総合生涯学習センター/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪梅田サテライト/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪シティキャンパス/国立国際美術館/CITYNAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/少彦名神社/中央電気倶楽部/適塾/ドーナツ/ホテルNCB/メビック開町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス [店舗・医院など]アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前製料理 志津可/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/エルマーズグリーン コーヒーカウンター/大西洋服店/OOO(オーオー)/カセッタ/喫茶カンタロ/喫茶SAWA/グラスイート中之島/黒門さかえ/コモカフェ/The Court/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/シトルベストコーヒー新聞ビル店/じろう亭/Giron's JR/心齋橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャーノ/パストラーレ/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/FOLK/フレムハウス/ミニシロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店]旭屋書店 なんばCITY店/紀伊國屋書店 京橋店/ジュンク堂書店 難波店/福島書店/柳ヶ堂/ループル書店 [公共施設・大学関連施設など]大阪科学技術館/大阪市社会福祉研修情報センター/大阪市立中央図書館/大阪府立江之子島文化芸術創造センター/川口基督教教会 [店舗・医院など]あじさい/アートアンドクラフト 欧風食堂 ミリパル/大阪シティ信用金庫 江戸堀支店/御舟かもめ/カルチャーカフェ上方/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワナ/バルビコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂 Books 呼文堂/水嶋書房 ぐずはモール店/大阪狭山市立図書館/大阪市立難波市民学習センター/大阪大学企画部広報・社会学連携事務局/大阪大学 21世紀機構堂/大阪大学本部/大阪府立中央図書館/摂南大学 地域連携センター/野村呼文堂/郵政考古学会/ゆったりんこ/連携考房 童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/恵文社 一乗寺店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンソノ/百歳/奈良県立図書館情報館/龍谷ミュージアム
- 東京 往来堂書店(千駄木)/BOOKSルーエ(吉祥寺)/B&B(下北沢)/隣町珈琲(荏原中延)/ONLY FREE PAPER(東小金井)/かもめブックス(新宿)

## ◎バックナンバーが見られます。

最新号の発行と同時に、ひとつ前の号がweb上で閲覧できるようになります。創刊号から見た方はこちらから。<https://nakanoshima-daigaku.net/about/tomin/>

## ◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

## 次号予告 中之島イマジュリイ

絵ハガキや広告といった大衆的なイメージ図像を指す「イマジュリイ」。そのデザインやモチーフの変遷をたどれば、街のあり方が見えてくる。

●『月刊島民』vol.115は2018年2月1日発行です!

編集・発行人/大迫力(編集集団140B)  
編集・発行/月刊島民プレス  
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)  
松本 創 江口由夏(編集集団140B)  
〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号  
TEL.06-6484-9677 FAX.06-6484-9678  
制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)  
デザイン/山崎慎太郎  
表紙イラスト/奈路道程  
印刷/佐川印刷株式会社

# 夢にむかって、おおきくなあれ。

次はどこいこう、何しよう。

そんなあなたの夢といっしょに、これからも成長していきたい。

私たちは京阪グループです。



■■■ 京阪グループ ■■■ 京阪ホールディングス (運輸) 京阪電気鉄道 京阪ステーションマネジメント 京阪レジャーサービス(ひらかたパーク) 叡山電鉄  
 京福電気鉄道 京阪エンジニアリングサービス 中之島高速鉄道 京阪エージェンシー 京阪バス 京都京阪バス 京阪京都交通  
 ケービー・エンタープライズ 江若交通 京都バス ケーター自動車工業 (不動産) 京阪カインド 京阪電鉄不動産 イースタン興業 京阪アセットマネジメント  
 京阪建物 ゼロ・コーポレーション 京ビルテクノサービス 京阪産業 かんこう 文化財サービス 京阪園芸 京阪シティ造園大阪  
 (流通) 京阪流通システムズ (KUZUHA MALL・京阪モール・京阪シティモール) 京阪百貨店 京阪友の会 京阪ザ・ストア 京阪レストラン ビオ・マーケット  
 カフェ LITTLE LION (レジャー・サービス) ホテル京阪 ホテル京阪マネジメント 京阪ホテルズ&リゾート(京都タワー・琵琶湖ホテル・京都センチュリーホテル)  
 京阪ステイズ 琵琶湖汽船 琵琶湖汽船サービス びわこフードサービス 大阪水上バス 比叡山鉄道 樟葉パブリック・ゴルフ・コース  
 比叡山自動車道 ガーデンミュージアム比叡 (その他) 京阪ビジネスマネジメント 京阪カード 京阪スマイルハート ビオスタイル はちけんや

2017.12月現在